



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	591,780	△8.4	65,835	△17.3	70,116	△15.7	46,238	△18.0
2019年3月期第3四半期	645,751	7.3	79,642	△15.6	83,184	△16.6	56,359	△18.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 47,194百万円(△9.0%) 2019年3月期第3四半期 51,866百万円(△32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	142.36	142.24
2019年3月期第3四半期	173.57	173.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	885,890	607,838	64.0
2019年3月期	878,194	579,501	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 567,063百万円 2019年3月期 540,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年3月期	—	28.00	—		
2020年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	△7.1	84,000	△20.6	86,000	△23.9	57,000	△27.0	175.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	325,080,956株	2019年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	244,713株	2019年3月期	345,105株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	324,796,722株	2019年3月期3Q	324,717,356株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)のわが国経済は、雇用・所得環境に緩やかな改善が見られるものの、米中貿易摩擦や中東地域における地政学的リスクなど世界経済の減速懸念を要因に停滞色を強めており、その先行きは依然として見通しづらい状況となっております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、エンジニアリング事業における電子産業分野での大型プロジェクトの順調な工事進捗等はあったものの、ナフサ価格や海外製品市況の下落に伴う販売価格の下落による影響が大きく、5,917億80百万円と前年同期に比べ539億71百万円(8.4%)の減収となりました。営業利益については、販売価格の下落による交易条件の悪化や在庫受け払い差の悪化により、658億35百万円と前年同期に比べ138億6百万円(17.3%)の減益となりました。経常利益については、円高進行により為替差損に転じたことにより、701億16百万円と前年同期に比べ130億67百万円(15.7%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、462億38百万円と前年同期に比べ101億21百万円(18.0%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石 油 化 学 事 業

エチレン、プロピレン及びキュメンは、非定修年のため生産量が増加し、キュメンを中心に出荷が増加しましたが、ナフサ価格及び海外市況の下落により製品価格は下落いたしました。

ポリエチレン樹脂は、太陽電池封止膜用途で輸出が増加いたしました。また、ナフサ価格の下落を反映して製品価格は下落いたしました。クロロプレンゴムは、アジア向けを中心に輸出が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ195億12百万円(13.5%)減少し1,250億88百万円となり、営業利益は前年同期に比べ30億71百万円(24.9%)減少し92億46百万円となりました。

ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、国内需要の停滞などにより出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。塩化ビニルモノマーは、出荷が減少し、海外市況の下落などにより製品価格は下落いたしました。塩化ビニル樹脂は、生産量の増加に伴い出荷が増加しましたが、海外市況の下落により製品価格は下落いたしました。

セメントは、国内出荷は減少しましたが、輸出は増加いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ303億73百万円(12.0%)減少し2,236億50百万円となり、営業利益は前年同期に比べ108億22百万円(33.2%)減少し218億3百万円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、需要低迷により出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少いたしました。診断関連商品は、欧米及び中国向けで体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。

ハイシリカゼオライトは、環境分野での需要停滞などにより出荷が減少いたしました。ジルコニアは、装飾品用途で出荷が減少いたしました。石英ガラスは、半導体市場の停滞により出荷が減少いたしました。電解二酸化マンガンは乾電池用途の出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ85億5百万円(5.7%)減少し1,394億86百万円となり、営業利益は前年同期に比べ53億87百万円(19.0%)減少し229億70百万円となりました。

エンジニアリング事業

水処理事業は、電子産業分野において国内の大型プロジェクトの工事が順調に進捗したことに加え、各分野のメンテナンスや設備改造などのソリューションサービスが好調に推移したことから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ52億59百万円（8.0%）増加し712億20百万円となり、営業利益は前年同期に比べ54億28百万円（123.2%）増加し98億36百万円となりました。

その他事業

商社等その他事業会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ8億40百万円（2.5%）減少し323億34百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ47百万円（2.4%）増加し19億79百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、機械装置及び運搬具の増加等により、前期末に比べ76億96百万円増加し8,858億90百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少等により、前期末に比べ206億39百万円減少し2,780億52百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ283億36百万円増加し6,078億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年10月31日に発表した予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,974	77,214
受取手形及び売掛金	227,274	217,803
商品及び製品	97,257	99,846
仕掛品	9,198	12,827
原材料及び貯蔵品	44,106	45,361
その他	29,610	26,514
貸倒引当金	△661	△658
流動資産合計	500,759	478,909
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	85,533	101,816
土地	72,102	71,968
その他（純額）	118,071	125,051
有形固定資産合計	275,708	298,836
無形固定資産		
	4,646	4,437
投資その他の資産		
投資有価証券	57,369	63,920
退職給付に係る資産	22,145	22,355
その他	18,144	18,017
貸倒引当金	△579	△585
投資その他の資産合計	97,079	103,707
固定資産合計	377,434	406,981
資産合計	878,194	885,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,723	98,988
短期借入金	72,146	74,890
未払法人税等	15,620	5,170
引当金	10,656	7,801
その他	38,106	34,798
流動負債合計	242,253	221,648
固定負債		
長期借入金	28,925	28,089
引当金	2,638	1,300
退職給付に係る負債	20,391	20,762
その他	4,484	6,252
固定負債合計	56,439	56,404
負債合計	298,692	278,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,041	45,157
利益剰余金	430,733	458,773
自己株式	△327	△233
株主資本合計	530,620	558,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,853	13,001
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△4,276	△6,910
退職給付に係る調整累計額	2,639	2,101
その他の包括利益累計額合計	10,216	8,192
新株予約権	297	270
非支配株主持分	38,367	40,504
純資産合計	579,501	607,838
負債純資産合計	878,194	885,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	645,751	591,780
売上原価	480,585	437,628
売上総利益	165,165	154,151
販売費及び一般管理費	85,523	88,315
営業利益	79,642	65,835
営業外収益		
受取利息	180	302
受取配当金	1,816	1,303
為替差益	852	-
持分法による投資利益	996	1,075
受取保険金	282	3,819
その他	1,404	1,466
営業外収益合計	5,533	7,967
営業外費用		
支払利息	864	855
為替差損	-	2,304
その他	1,126	526
営業外費用合計	1,990	3,686
経常利益	83,184	70,116
特別利益		
固定資産売却益	340	36
投資有価証券売却益	97	147
特別利益合計	438	183
特別損失		
固定資産売却損	11	46
固定資産除却損	1,460	1,460
投資有価証券評価損	164	-
減損損失	61	217
特別損失合計	1,697	1,724
税金等調整前四半期純利益	81,925	68,576
法人税等	24,393	19,176
四半期純利益	57,531	49,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,171	3,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,359	46,238

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	57,531	49,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,309	1,172
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△1,292	△2,660
退職給付に係る調整額	79	△499
持分法適用会社に対する持分相当額	△142	△218
その他の包括利益合計	△5,665	△2,205
四半期包括利益	51,866	47,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,872	44,214
非支配株主に係る四半期包括利益	993	2,979

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、主として定率法（ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、中期経営計画（2019-2021年度）の策定を契機に減価償却方法を検討した結果、今後生産設備が長期にわたり安定的に稼働することが見込まれ、投資効果が平均的に生ずると見込まれることから、定額法がより合理的と判断したことによるものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は2,833百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は2,849百万円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	144,600	254,024	147,991	65,960	33,174	645,751	—	645,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,335	23,898	11,230	11,875	41,140	162,480	△162,480	—
計	218,935	277,922	159,222	77,836	74,315	808,231	△162,480	645,751
セグメント利益	12,318	32,626	28,357	4,407	1,932	79,642	—	79,642

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	125,088	223,650	139,486	71,220	32,334	591,780	—	591,780
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,673	21,912	9,582	14,438	43,642	151,250	△151,250	—
計	186,762	245,563	149,068	85,659	75,977	743,030	△151,250	591,780
セグメント利益	9,246	21,803	22,970	9,836	1,979	65,835	—	65,835

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、従来、当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、主として定率法(ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「石油化学」については658百万円、「クロル・アルカリ」については1,438百万円、「機能商品」については737百万円それぞれ増加しております。

3. 補足情報

2019年度第3四半期連結決算概要

2020年2月3日
東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
売 上 高	6,458	5,918	△ 540	8,615	8,000
営 業 利 益	796	658	△ 138	1,057	840
経 常 利 益	832	701	△ 131	1,130	860
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	564	462	△ 101	781	570
1株当たり四半期(当期)純利益	173円57銭	142円36銭	△ 31円21銭	240円62銭	175円49銭

(2)指標

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	111.1	108.7	△ 2.5	110.9	106.8
為替[TTM期中平均](円/EUR)	129.5	121.0	△ 8.4	128.4	120.7
国産ナフサ価格(円/KL)	52,133	42,200	△ 9,933	49,400	41,875

(3)事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,446	1,251	△ 195	15	△ 210	-	-
	営業利益	123	92	△ 31	△ 11	-	20	△ 39
クロル・アルカリ	売上高	2,540	2,237	△ 304	1	△ 305	-	-
	営業利益	326	218	△ 108	△ 4	-	△ 38	△ 65
機能商品	売上高	1,480	1,395	△ 85	△ 62	△ 23	-	-
	営業利益	284	230	△ 54	△ 20	-	△ 10	△ 23
エンジニアリング	売上高	660	712	53	59	△ 6	-	-
	営業利益	44	98	54	53	-	0	1
その他	売上高	332	323	△ 8	△ 4	△ 4	-	-
	営業利益	19	20	0	0	-	0	0
合 計	売上高	6,458	5,918	△ 540	9	△ 548	-	-
	営業利益	796	658	△ 138	18	-	△ 29	△ 127

(注)億円未満は四捨五入